



2013-2014 RI会長：ロン D. パートン
 RI 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎
 会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三
 例会日：木曜日 12：30～13：30
 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケット・ホール
 Tel.04-2963-1111

入間ロータリークラブ Weekly Report



会報委員長：関谷 永久 当番：大野 賢次
 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイソ斎竹 101 号
 Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788
 Email：iruma - rc@jupiter.plala.or.jp

8号 2776 回例会 2013年 8月29日(木)

ビジター・ゲスト
 第 2570 地区第 3 グループ ガバナー補佐
 所沢西ロータリークラブ 室伏 秀樹 様

会長の時間 友野政彦会長

本日は室伏ガバナー補佐においでいただいておりますが、次週はいよいよガバナー公式訪問となります。ガバナーは 11 時 30 分に到着され、懇談会、食事の後 12 時 30 分に例会場にお入りいただき、ロータリー美術館をご覧ください。ロータリー美術館とは、昭和 50 年から 40 年近くに亘って行われている入間ロータリークラブ独自の委員会活動です。会員宅にある美術品を持ち寄り、心なごむひと時を共に過ごすことを目的に、公式訪問や新年に開催しています。私自身もここに当クラブの歴史と伝統、そして品格を感じております。続いて行う例会は約 30 分程度とし、記念撮影を挟んでクラブ協議会へと進みます。クラブ協議会はガバナーの意向を尊重し、会員増強・規定審議会・更には地区運営等をテーマに活発な討議が出来ればと思っております。室伏ガバナー補佐どうぞ次週も宜しくお願い致します。

さて、ここ数日の報道で藩基文(パン・ギムン)国連事務総長の発言が注目を集めています。26日にソウルの外交省にて「正しい歴史認識がよき国家関係を維持する。日本の政治指導者には深い省察と、国際的な未来を見通す展望が必要だ。」と述べています。事務総長は後にこの発言については釈明していますが、明らかに中立性を欠いた発言でした。

私もそうですが、皆様方の中にも韓国の友人知人がいらっしゃる方も多いと思います。おそらく多くの韓国人は個人的には決して反日的ではないと思います。しかし公の立場に立つ方には朴大統領を始め反日的発言が目立ちます。更には三菱重工や新日鉄住金に対する日本統治時代の強制労働への損害賠償等、国家間で解決済み(1965

年の日韓基本条約において)の問題を今さら持ち出すのは、法治国家として如何なものかと思えます。また、他国と全く同じ歴史認識を持つのは不可能なのかもしれません。国家間の関係改善が難しい今、民間の交流に期待するしかないのではないでしょうか。

幹事報告 西山祐三幹事

1. 来週のガバナー公式訪問の際、クラブブレザー、クラブタイの着用をお願い致します。
2. ガバナー月信をメールでの希望 或いはプリントでの希望かを回覧で回しておりますのでご記入ください。
3. 9/12 会場変更、持ち回り理事会にて承認されております。12日は武蔵クラブとなります。

●委員長報告
親睦委員会

大野賢次委員

9/25, 26 のクラブ親睦・家族旅行は東山温泉の「向瀧」に泊まります。出来るだけ多くの会員・家族の出席をお願いします。見どころは会津若松の鶴ヶ城で大河ドラマの八重の桜の舞台です。



<ニコニコBOX> 滝沢文夫 S A A

室伏秀樹様～お世話になります 私も入間市民です。石川嘉彦君、平岡達也君、友野政彦君、吉永章子君、西山祐三君、加藤国夫君、滝沢文夫君、忽滑谷明君、馬路宏樹君～室伏ガバナー補佐ようこそ入間ロータリークラブへ。山岸義弘君、木下登君～早退します。

本日 ¥13,000 累計¥188,000

講師卓話

第 2570 地区第 3 グループ ガバナー補佐 所沢西ロータリークラブ 室伏 秀樹 様



私は生まれも育ちも入間市野田で、1945 年 2 月 9 日生まれの 68 歳です。昔は短距離の選手で、入間市の社会科副読本の記録にも載った事もありました。今では考えられませんが……。

仕事はヨシケイ埼玉の会長を遣っております。フランチャイズチェーンのヨシケイグループ 68 社の一員で昭和 52 年に加入して、今年で 36 年になります。創業時のメニューは一種類だけでしたが、今では若い人向け、簡単、ちょっと高級、高齢者向け等、8 種類程のメニューを毎日届けております。時代の流れで全体の 60%が二人用食材セットとなって、家族構成が随分と変化していると実感しております。

ロータリーは 1989 年 6 月 7 日に入会して 25 年経ちました。2570 地区で始めて 2 年連続で 2011-2013 年度会長を受けて 6 月まで携わって参りました。

7 月 1 日付けの第 2570 地区の会員数は **1,697** 名となりました。当初今年度の地区予算は、1,750 名で組んでいました。サクジ作戦は、今年で 2 年目を迎えます。その内容は、2012 年を初年度とし毎年純増 3%を達成しようというものです。サクセスジャパンから、RI 田中作次前会長の名前をもっています。本人諒解の下です。2570 地区では、52 クラブ中わずか 18 クラブの参加です。

日本中の他地区・他クラブへの入会候補者の推薦をするというものでしたが、この本質上なかなか難しく現実的には低調でした。しかしそれでは衰退を待つだけとなりますので、別紙資料をご一読いただき、常に増強に心がけていただきたいと思います。

昨年度 RI 理事のスマージ氏はこう言われています。この 7 年間に世界のロータリークラブは 110 万人の新会員を迎えていたのです。どんどん入ってくる会員が次々出て行ってしまう。どうも、クラブの多くが錆びて穴だらけの古いバケツに化してしまっただけです。このいわゆる「自然減」の結果、ロータリアンであることの価値は低下し、ロータリーの公共イメージが損なわれ、各クラブの影響力も低下しています。クラブ会長に、勧誘の方法を教え、会員増強コンテストに奮い立たせても、長期的な変化は見られません。

今、ロータリークラブはある意味で「アイデンティティ(自己認識)の危機」に接していると言えるかもしれません。いろいろなロータリアンに、「ロータリーとは何でしょうか」と問いかけてみると、少し考えたのち、実に多種多様な答えが返ってきます。このように共通意識がないかのように見えるということは、ロータリーの中核的ジレンマであり、非常に重大な難問でもあります。ロータリーに一致したアイデンティティがないということは、ロータリーに方向性がないように受け取れます。自分たちがどういう団体なのか理解し対象層にこれを効果的に伝えることができないうちは、会員増強の問題は、解決できないのかも知れません。しかし、その解決に向かって私たちにできることがあります。それは、ロータリーの構築に注目することです。

ブランドとは、自分たちに対する期待であり、人々への約束、つまり自分たちがする事すべてにおいて、守っていく約束です。効果的なブランドは、その組織を際立たせます。と言われております。

■回覧、配布物

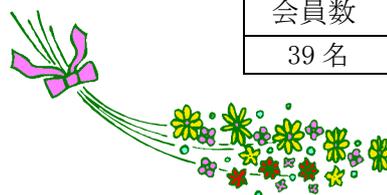
- ① 入間ロータリークラブ定款・細則
- ② ガバナー月信配布アンケート
- ③ 深谷東 RC 創立 30 周年記念誌
- ④ 親睦家族旅行出欠表
- ⑤ 9/5 ガバナー公式訪問出欠表
- ⑥ 他クラブ週報
- ⑦ 週報 7 号

< 出席報告 >

木下登出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39 名	30 名	78.94%	89.5%

* 事前欠席連絡 2 名



会報委員会 (関谷・平岡・忽滑谷)